

2012年度

2012(平成24年)年4月14日

学校だより 第2号

ヒューストン日本語補習校

第41回 入園・入学式

新入生入場 開式の辞 日米国歌斉唱
氏名点呼 学校長式辞 来賓紹介
祝辞 <山本在ヒューストン総領事>
祝文披露 「中島前校長からのメッセージ」
新入生の言葉 中1 寺田凌大 織田恭輔
歓迎の言葉 小2 甲斐律気 樽谷萌乃香
閉式の辞 新入生退場

～学校長式辞より～ (部分)

補習校に学ぶ皆さんは現地校と補習校で学ぶため、授業も宿題もたいへんハードだと聞いています。私は皆さんがたいへんな毎日をこなせるのは、皆さんがしっかりした目標を持っているからだと思います。

昨年、「SMAP」の北京公演を扱ったNHKの番組を観ました。予定どおりのリハーサルが出来などの困難を乗り越えての公演は大成功でしたが、番組の中でリーダーがこんなことを言っていました。

「努力したことよっての成功は保証されてはいませんが、自分たちの成長は必ず保証されている」私は皆さんの様子からこの言葉を思い出しました。

皆さん一人ひとりが、それぞれの学部に応じた夢や希望、つまり目標に向けて友だちと励まし合いながら頑張っていると思います。その頑張りは、その努力は、必ず皆さんの成長につながるはずで、また、皆さんの成長のために、ご家族をはじめ多くの方々を応援して下さっていることも、忘れずにいた

ものです。



来賓祝辞 山本条太 総領事



在ヒューストン日本国総領事館を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、入園・入学の児童生徒の皆さん、おめでとうございます。一つ上の学年に、無事進級を果たした皆さんもおめでとうございます。

ヒューストンの人口は209万人を超えます。日本人は何人いるのか去年10月に調査をしたら2486人でした。少ない数かも知れませんが、日本人のことは良く知られ、親しまれています。皆さんのお父さんやお母さん、そして、ヒューストンに暮らし活躍された、たくさんの先輩のおかげです。先週ハーマンパークでジャパン・フェスティバルが開催され、25000人以上の市民が訪れました。私たちはヒューストンを大切に、ヒューストンもまた私たちが大切にしている、何よりの証拠です。

2486人という正確な数字が出てくるのも、日本人ならではの理由です。在留届等の必要な手続きを、面倒をいとわずに日本人の誰もがきちんとする、だからこそ正確な調査が可能となります。真面目で丁寧で正確、そしてきちんとしていること、そのような日本人の姿は誰にとっても美しく見えると思います。(2頁へ)